

1. 今後のスケジュール

《会議の流れ》

2019年 10月9日
タイムライン検討会発足に向けた勉強会

2019年11月11日
小瀬川水防災タイムライン発足式
" 第1回検討会

本検討会

2019年12月12日
小瀬川水防災タイムライン第2回検討会

2020年 1月下旬
小瀬川水防災タイムライン第3回検討会

2020年 3月上旬
小瀬川水防災タイムライン第4回検討会
" 完成式

2020年出水期～ 実際の台風にあわせてタイムラインを運用 ⇒ 実施状況を検証しフォローアップ

《主な検討内容》

・「小瀬川の被害特性の把握」、「タイムラインの概要」、「今後の進め方」に関する説明

・「座長選任」
・「各機関の行動項目の整理」に関する検討

関係機関ヒア(連携項目、重要行動項目等の確認)

・「小瀬川水防災タイムライン素案」に基づき、役割分担や調整事項の確認
⇒連携機関全体での合意形成

・「小瀬川水防災タイムライン案」に基づき、図上訓練を実施し、関係機関の行動項目・連携のタイミング等を検証、課題の共有

タイムライン完成に向けた関係機関との最終調整

・訓練結果をフィードバックした「小瀬川水防災タイムライン」の提示・承認

2. 次回検討会で実施する図上訓練の概要

1. 訓練の目的

- 小瀬川水防災タイムライン(案)について、関係機関の防災行動項目および連携項目の内容・タイミングや役割を共有し、相互理解を深める。

2. 訓練の方法

- 災害対応の流れ、各機関の役割を共有し、効果的な防災行動が実現できるかを確認するための図上訓練(読み合わせ訓練)を実施する。

3. 訓練の流れ

①タイムラインレベルの状況説明

- ・「事務局」から想定シナリオ(台風進路、気象、水位等)を報告する。

②タイムライン立ち上げおよびレベル移行の周知

- ・「**●●市**」からタイムラインの立ち上げおよびタイムラインレベルの移行を周知する(読み上げる)。

③防災行動項目の確認・共有

- ・「事務局(行動内容によっては関係機関)」から防災行動項目の内容を読み上げる。
- ・「関係機関」は自機関の防災行動項目および内容を確認するとともに、『役割シート(●:主体機関、○:支援機関等)』を挙げて、他の機関と共有する。【右写真参照】

④意見交換(図上訓練後の振り返り)

- ・改善点や疑問点等について意見交換し、関係機関で共有する。

レベル5までの訓練完了後

■読み上げ例(タイムライン立ち上げの周知)

行動項目①:タイムラインの立ち上げについて周知いたします。
※本件については実際はメール等にて配信予定です。

- 小瀬川水防災タイムライン検討会メンバー 各位
- ・○月○日(○)午前△時に実施したタイムライン内部会議の調整結果を共有します。
- タイムラインの立ち上げ
- ・台風経路や今後の気象情報の予想からタイムラインの運用を開始します。
- 現在のタイムラインレベルは【0】です。
- ・タイムラインレベル0で実施予定の対応をお願いします。
- ・今後の台風および気象情報にご注意し、行動してください。

訓練の実施事例



自機関の行動を確認するとともに、『役割シート』を挙げて、関係機関間の役割を把握・共有する